

2021年9月17日

日本原燃株式会社

再) 防災業務課

COP資料の合理化に係る見直しについて

1. 前回面談時における主な指摘事項

- ①概略版のCOP資料が必要。1枚で全体概要を示して、状態が記号(○、△、×等)で説明できること。
- ②施設構造に精通していることが前提の資料構成としないこと。
- ③旧COP①(設備状況)は、全交流電源喪失(AL事象)を前提で作成されており、AL未満時では情報不足。また、2の矢、3の矢の情報を求める。
- ④発生防止対策と拡大防止対策の記載を別資料で分割することは不適切。
- ⑤全貯槽の情報は、備付け資料とするべき。
- ⑥COP資料は冷却の対策、換気の対策といったカテゴリで整理するべき。

2. 上記の指摘事項に対するCOP資料の見直し案

COP資料の構成について、以下のとおり見直しを行った。

【COP① 再処理事業所 全体概要図】

全体状況を概略図で示し、設備状況を記号(○、△、×等)で表示。(指摘事項①)
概略図を使用し、イメージしやすい構成に見直し(指摘事項②)

【COP② 再処理事業所 設備および対策状況】

旧COP①をCOP②へ変更

AL未満においても本シートを用いた説明が可能となるよう自主対策項目を追加
(指摘事項③)

【COP③ 再処理施設 戦略シート 蒸発乾固】

発生防止対策および拡大防止対策を同シート内で表示。(指摘事項④)

全貯槽の情報は備付け資料へ移すこととし、本シートから削除(指摘事項⑤)

蒸発乾固対策のうち、冷却に係る部分のみでCOP資料を作成(指摘事項⑥)

(これまで記載していた凝縮器等は、別シート(代替えセル排気)で管理)

3. COP資料の運用方法案

- ・地震発生等による再処理事業所内の状態をCOP①(全体概要図)およびCOP②(設備状況)で把握する
- ・AL未満およびSA対策まで移行しない事象については、COP①、②および備付け資料(系統概要図等を今後追加)で説明を実施する

- ・ SA 対策へ移行した場合は、COP③を追加して説明を実施する

4. COP資料の全体構成案

- ・ COP① 全体概要図
- ・ COP② 設備及び対策状況
(COP③以降 各戦略シート)
- ・ COP③ 蒸発乾固
- ・ COP④ 水素爆発
- ・ COP⑤ セル導出、代替セル排気 (蒸発乾固と水素爆発で使用)
- ・ COP⑥ 燃料損傷

その他、各貯槽毎の情報、系統概要図等は備付け資料で整備する。

以 上